

## ふるさと納税に関するグループワークを行いました

本日は高校1年生の現代社会の授業にて行われました「ふるさと納税」に関するグループワークと発表をご紹介します。

これは高1 現代社会の授業における「地方自治」の項目で行われたものです。授業内では、財政が苦しい地方自治体が存在することを学んだうえで、その打開策の1つとして注目されている「ふるさと納税」についての映像を視聴しました。そして「具体的にどのような自治体がふるさと納税を募集しているのか」「どのような返礼品を用意しているのか」「寄付金の使途はどのようなものか」などをグループに分かれて調べました。最終的にはグループの代表者が前に出てクラス全体に向けて発表を行いました。

はじめのうち、生徒たちからは「ふるさと納税って名前は聞いたことあるけど、詳しい制度までは知らない」「うちの家ではふるさと納税を行っていて、返礼品が届く」などの声が聞こえました。それが調べていくうちに具体的な中身や制度的な課題などが見えてきて、最終的には「家に帰ったら両親にふるさと納税を勧めてみたい」「返礼品の中身だけでなく、寄付金の使われ方にも注意を払いたい」といった感想を抱くようになっていました。また発表の中では「ふるさと納税を東日本大震災や西日本豪雨からの復興支援に充てる自治体もある」などの気づきもありました。今後もこうした身近な事例を切り口に学びを深めていける授業を学校全体で展開していきたいと思っています。

### イメージを深めるための映像視聴



### グループ内での話し合い



### 黒板でのまとめ・代表者による発表

